



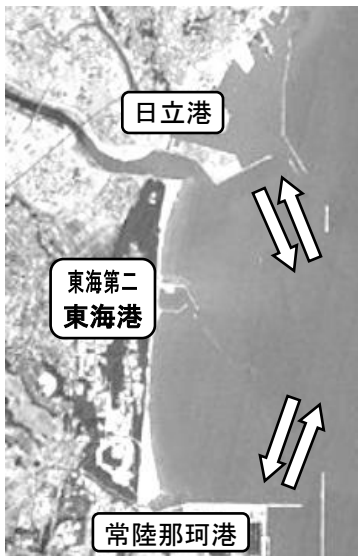
ニュース さよなら原発 第69号 2018. 10. 1 発行

さよなら原発ひたちなか市実行委員会

連絡先：ひたちなか市馬渡 2824-63 佐藤 英一 TEL:029-273-4775

ホームページ：<http://sayonaragennpatu.wixsite.com/mysite>

激しさ増す自然災害の影響を審査せずに 規制委員会 東海第二の基準適合決定 (9/26)



東海第二原発の東海港周辺は、日立港や常陸那珂港に出入りするタンカーの通路ともなっている。

○津波で防潮堤破壊（右写真）や、21号台風の高波でタンカー（2,591トン）が激突し関空連絡橋を破損（9/5）したように、もし、日立港や常陸那珂港に出入りする数万トンの大型船が防潮壁に激突したらどうなるかを規制委員会はノー・チェックで合格。

○胆振東部地震（北海道9/6）は 東海第二 想定地震の1.5倍。もし襲われたら損壊する。だが、ノー・チェックで合格。



（2011. 3. 11 津波で大型貨物船 4724 トンが防潮堤を破壊）

無謀な延長運転は やめるべき

アメリカで現役最古の原発が9月に20年延長許可の半分も使えず、9年（通算49年）で廃止になった^{注1}。来年も別の原発が延長後7年で廃止になる^{注2}。

注1) オイスタークリーク原発
（ニュージャージー州）

注2) ピルグリム原発
（マサチューセッツ州）

東海第二原発は、1740億円と2年半をかけ補強工事をし、その後も500～1100億円のテロ対処施設を完成させ20年延長する考えである。

ところが左記の様に実際の延長が10年足らずなら、正味7年しか使えない計算になる。大赤字で、廃炉処理も出来ず、核のゴミが無責任に放置されかねない。

古い「東海第二原発」は、廃炉が一番！
◇原発でできた放射能は、消滅する技術がなく、何万年も脅威です。
子どもたちに、安全な未来を
◇原発廃炉へ、廃炉技術を磨くことが重要です。



原発が 安全・安い・クリーンは ウソ!!

「東海第二を動かすなんて とんでもない」

「原発をなくすのに、保守も革新も、

与党も野党も、関係ない」

（小泉元首相、4月水戸市で）

ひたちなか市での

東海第二原発への 声 声 声

政府・原電が 再稼働を 推し進める理由

電力資源に乏しい日本は原発が必要。原発はベースロード電源なので全電力の20~22%は必要*。

東海第二原発は厳しい審査を経て、安全を最優先に電力供給の責任を果たす。

人間の技術は失敗を繰り返しながら進歩する。福島事故を教訓に事故が起きないようにして、再稼働する。

*）現在の 10 倍に増やすということ

原発ゼロの時代 21 世紀

ドイツ（8000 万人）は現在、電力の 30%を再生可能エネルギーで賄い、2030 年には、65%を目指しています。 オーストリア、スイス（800 万人）は 2030 年で 100%が目標です。日本の安倍政権は 2030 年で 22～24%が目標。やる気がありません。地方から**自然エネルギー**が広がるのをジャマしています。

市民が 東海第二原発再稼働に 反対する理由は 3つ

1 原発事故だけは、絶対にあってはならない。

ひとたび起これば、東電・福島事故のようになる。原発事故は車や飛行機の事故とは全く違う。電力は十分足りている。

このまま廃炉が一番の安全対策

2 原発の使用済み核燃料（核のゴミ）を
無害にできず、**子孫に危険を残す。**

3 ひたちなか市は人口 16 万人、東は海、北は久慈川、南は那珂川。**避難計画は立てようがない。故郷を失い難民になる。命が大事。**

【本間ひたちなか市長】

本市には、海浜公園など多く集まる施設があり、実効性のある避難計画ができない限り、再稼働は許されない。

本号は、特別企画につき、「放射線測定ボランティア正治さんの測ってみると」は、お休みします。

ドキュメンタリー映画 『福島は語る』

日時 10月31日(水) 10時~13時

会場 ひたちなか市文化会館

入場料

小ホール

500円

学生無料

(前売券販売中)

主催 『福島は語る』上映実行委員会

原発事故から7年半。事故が引き起こした被害と悲劇は今も果てしなく続いている。ジャーナリストでもある監督の土井敏邦氏は車に寝泊りしながら100人を越える被害者を訪ね歩いた。この映画は、忘れられつつある福島の人々の心の叫びである。